

日本社会科教育学会
第68回全国研究大会（奈良大会）のご案内（1次案内）

日本社会科教育学会会長 井田仁康
 全国研究大会実行委員長 岩本廣美

「奈良」と聞いて、古代の歴史と結びつけてイメージする方が少なくないと思われます。奈良盆地北部平地（現在の奈良市内、以下単に奈良）に710年平城京が造営され、途中曲折はあったにしても784年までこの地に都が置かれた、という歴史的事実があったからです。古代の都として繁栄し、当時の日本の中心であったばかりか、奈良はユーラシア大陸の各地とも結びついていたことが正倉院の御物などからうかがわれます。奈良は、現代においては日本の中の一地方に過ぎないかもしれませんが、こうした背景を持つことから、我々の思考を日本へ、世界へと押し広げてくれる地域でもあります。本学会の第68回大会主題を「奈良の地から発信、日本へ、世界へ」と設定した理由のひとつは奈良の持つ地域的性格によります。また、シンポジウムのテーマを「社会科における文明の取り扱い」としたのも、同じ理由によります。

もうひとつ、社会科のあり方を考えていくうえで忘れてはならない歴史的事実があります。奈良は、全国の中でも社会科をいち早くスタートさせた地域のひとつであったことです。1947年3月の学習指導要領一般編（試案）公表前の同年2月、当時の奈良師範学校男子部附属国民学校教員有志が執筆し発行した冊子のタイトルは「社会への旅」であり、「社会科読本」とも記されています。現在各地域で発行されている社会科副読本の嚆矢に当たるものといえましょうか。大会主題には、敗戦後間もない物資の乏しい時期に教育の未来や子どものことを熱く語り合った諸先輩の労苦に多少とも報いたい、という意味も込めました。

会員の皆様におかれましては、奈良の地で、日本や世界に想いを馳せながら、闊達な議論を交わしていただけることを念願しています。

1. **大会主題** 奈良から発信、日本へ世界へ
2. **期 日** 2018（平成30）年11月3日（土）・4日（日） ※関連行事は2日（金）
3. **会 場** 奈良教育大学（〒630-8528 奈良市高畑町）
4. **主 催** 日本社会科教育学会 日本教育大学協会全国社会科部門
5. **後 援** 奈良教育大学 奈良県教育委員会 奈良市教育委員会
 奈良県小学校教科等研究会社会科部会 奈良県中学校教科等研究会社会科部会

6. 日 程

第1日目 11月3日（土）

8:30	9:30	12:00	13:30	16:00	16:10	17:10	17:30	19:30
受付	自由研究発表Ⅰ	昼食 評議員会	シンポジウム			総会	移 動	懇親会 (大学生協)

第2日目 11月4日（日）

8:30	9:00	12:00	13:00	15:30
受付	自由研究発表Ⅱ	昼食	課題研究発表	

7. 関連行事

公開授業	2018年（平成30）年11月2日（金）
会場	奈良教育大学附属小学校（大学構内）
内容	学びを深める問いに着目した社会科学習 「日本の工業－小学校5学年の実践－」
受付	13：15～13：40
授業	13：45～14：30
研究協議	14：35～15：20

8. シンポジウム

テーマ 社会科における文明の取り扱い

[趣旨]

私たちは、高度文明社会の中で生活していると言われます。その文明については、人文・社会諸科学や自然科学などさまざまな分野で研究がなされています。教科・科目では、主に社会科や社会系教科・科目で扱われています。たとえば、現行の中学校社会科歴史的分野のある教科書では、「世界各地で生まれる文明」に中国文明、インダス文明等を挙げ、主に紀元前の世界の動きについて記述しています。日本の明治維新に関する単元では「欧米の文化や生活様式が取り入れられ、・・・文明開化が進みました。」といった記述も見られます。

しかし、文明とは何か？その本質をどう考えたらよいか？歴史的淵源は？など本学会では、これまで十分な議論はなされていません。また、諸学問分野では文明に関する研究は盛んですが、歴史的分野および世界史以外の社会科や社会系教科・科目では文明について取り上げることはほとんどありません。そこで本シンポジウムでは、文明に関して多角的な論点から議論を交わし、社会科教育の活性化に寄与したいと考えています。

古来より、ユーラシア大陸各地の文明の影響を受けてきた奈良の地は、こうした議論を交わすのに相応しい地であると考えられます。

コーディネーター	米田 豊（兵庫教育大学）	岩本 廣美（奈良教育大学）
シンポジスト	安田 喜憲（立命館大学環太平洋文明研究センター）	
	田尻 信壹（目白大学）	
	中山 京子（帝京大学）	
	植田真夕子（愛知県弥富市立日の出小学校）	
コメンテーター	原田 智仁（滋賀大学）	

9. 課題研究

I 主体的な学びについての検討

コーディネーター 坂井誠亮（北海道教育大学） 藤井千春（早稲田大学）

[趣旨]

新学習指導要領の改訂の基本方針の一つとして、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が示されました。そもそも、この「主体的・対話的で深い学び」は、決して今新たに生まれたものではありません。戦後初期社会科以来、研究テーマとして唱えられてきましたが、具体的な議論はなされてきませんでした。そこで本課題研究において、主体的な学びとは、具体的に子どもどのような学びの姿であるのか。また、その為には、どのような指導が有効であるのか。さらに、どのように評価すればよいのかについて議論していきたいと考えています。

II 多様性の視点から社会科を見直す

コーディネーター 川口広美（広島大学） 橋崎頼子（奈良教育大学）

〔趣旨〕

社会のグローバル化に伴い、社会科を含めた民主主義社会における市民的資質育成のための教育の見直しが求められています。特に、シティズンシップ教育では、市民がもつ多様な価値観やアイデンティティを前提とした教育実践が議論されてきています。本課題研究では、多様性の尊重という視点を異なる形で取り入れつつ、知識・技能・態度を含めた市民的資質の育成を目指す実践をもとに検討を行っていきます。

III 社会的な見方・考え方の構造と発展

コーディネーター 吉水裕也（兵庫教育大学） 戸井田克己（近畿大学）

〔趣旨〕

新しい学習指導要領が告示され、社会的な見方・考え方などの見方・考え方の構造が示されました。見方・考え方は、小・中・高でどのように発展するのでしょうか。また、そもそも社会的なのか社会的なののでしょうか、本課題研究では、社会的な見方・考え方の構造と小・中・高校の発展性、地歴と公民の関係等について議論したいと思います。

IV 社会科授業に困難を覚える児童・生徒への支援とは

コーディネーター 木村博一（広島大学） 國分麻里（筑波大学）

〔趣旨〕

集団行動や共同作業ができない、集中力が続かない、図表の読み取りが苦手など授業に困難を抱える児童・生徒がいます。社会科授業の中では、どのような状況に対して、いかなる取り組みがなされているのでしょうか。本課題研究では、通常の学級および特別支援学校での社会科授業の取り組みから、社会科授業に困難を覚える児童・生徒への支援を一緒に考えていきます。

V 教員養成系大学院改革はこれでよいか -社会系教科における教員養成の国際的動向を踏まえて-

コーディネーター 茨木智志（上越教育大学） 戸田善治（千葉大学）

〔趣旨〕

現在、教員養成系大学院では、いわゆる「教職大学院一本化」による修士課程改革が実施されようとしています。内容教科といわれる社会系教科では、こうした動向をどのように評価し、対応していくべきなのか。よりよい教育・研究体制の構築を目指した早急な検討が求められています。そこで、本課題研究では、先行して教員養成制度改革を断行したイギリスにおける経験に学びながら、各大学院で取り組まれている修士課程改革の実際を交流し合うことにより、あるべき改革の方向性を議論したいと思います。

10. 大会参加の申し込みについて

(1) 参加費

① 大会参加費

一般会員	: 3,000 円 (事前登録)	3,500 円 (当日受付)
学生・院生会員	: 2,500 円 (事前登録)	3,000 円 (当日受付)
非会員	: 3,500 円 (事前登録・当日受付)	

② 懇親会参加費

会員・非会員	: 4,500 円 (事前登録)	5,500 円 (当日受付)
--------	------------------	----------------

③ 弁当代

第1日目のみまたは第2日目のみ	: 800 円	両日	: 1,600 円
-----------------	---------	----	-----------

【振り込み先】 ゆうちょ銀行

口座記号番号 00920-5-0333500

口座名 日社学68回実行委員会

(2) 大会参加、懇親会参加および弁当の事前登録について

【締め切り】 2018年10月15日(月)

参加の申し込みおよび参加費の振り込みの両方が完了した時点で事前登録完了となります。

弁当は事前登録が完了していない場合、ご用意できません。

① 大会への参加等は、本学会 HP リンク【大会参加(事前登録)申込フォーム】からお申し込みください。

日本社会科教育学会 HP <http://socialstudies.jp/ja/index.html>

【大会参加(事前登録)申込フォーム】

https://www.ics-com.biz/well_form/jass/entries/add/1

② 大会参加申し込み完了後、受け付け確認メールにて参加申込受付番号が自動送信されます。自動送信メールを受信されない場合、大会事務局まで直接お問い合わせください。

③ 大会参加費、懇親会費および弁当の振込用紙(事前登録専用)を同封いたします。参加申込受付番号をご記入のうえ振り込みをお願いいたします。振り込みの締め切りは、10月15日(月)です。

④ 第1日目の受付は混雑が予想されます。当日の受付の混雑を緩和するため、可能な限り、事前登録をお願いいたします。

⑤ 事前登録を完了された方の参加のキャンセルは、2018年10月15日(月)の13時まで受け付けます。10月15日(月)までは、事前登録の自動返信メールに記載されている「編集・キャンセル画面のURL」よりご自身でキャンセル手続きをお願いいたします。10月16日(火)～10月22日(月)の間にキャンセルをされる場合は、大会実行委員会までご連絡ください。

⑥ 事前登録をされる場合、緊急時の連絡先メールアドレスをご登録ください。台風等による全国大会の中止等、緊急時の連絡をいたします。

⑦ 事前登録を完了された方が、大会に参加できなかった場合、後日、登録された住所に『大会発表論文集』を送付いたします。

11. 自由研究発表の申し込みについて

① 自由研究発表の申し込みは会員に限ります。

② 自由研究発表の申し込みは、本学会のHPの【自由研究発表申込フォーム】からのみ受け付けます。その際、あらかじめ【大会参加(事前登録)申込フォーム】にて申し込み、参加申込受付番号を取得しておく必要があります。郵送あるいはFAX等での申し込みはできません。

【自由研究発表申込フォーム】 https://www.ics-com.biz/well_form/jass/entries/add/2

- ③ 自由研究発表の申し込み締め切りは 7月17日(火) の24時です。以降は、いっさい受け付けません。
- ④ 自由研究発表の申し込み完了後、受け付け確認メール等が自動送信されます。自動送信メールを受信されない場合、大会事務局まで直接お問い合わせください。
- ⑤ 『大会発表論文集』の原稿等はすべて、本学会 HP の【大会発表論文集原稿アップロードフォーム】にて行います。メールの添付ファイルあるいはFAX等では受け付けません。
- 【大会発表論文集原稿アップロードフォーム】
- https://www.ics-com.biz/well_form/jass/entries/add/3
- ⑥ 連名で自由研究発表を申し込まれる場合、会員の方が代表となり、【自由研究発表申込フォーム】にて申し込みをお願いいたします。その他の方は、全員、【大会参加（事前登録）申込フォーム】より参加申し込みをお願いします。
- ⑦ 『大会発表論文集』の原稿は、9月18日(火) が締め切りです。
- ⑧ 自由研究発表は、発表20分、質疑応答10分の計30分です。自由研究発表に関する詳細は、大会プログラム（2次案内、10月上旬発送および大会HPに掲載予定）
- ⑨ 自由研究発表会場には、パワーポイント2013を搭載したデスクトップパソコン（インターネット接続はできません）、プロジェクター、スクリーンが装備されています。パワーポイントを使用して発表される方は、USBメモリ等にデータを保存しご持参ください。第1日目は9:15まで、第2日目は8:45までに発表会場に到着し、データを事前にパソコンにインストールしておくことをおすすめします。または、発表時間内にご自身でしてください。ご自身のノートパソコンを使用することもできますが、機械接続は発表時間内にしてください。接続ケーブルとしてHDMIおよびアナログRGBを用意しています。
- なお、発表会場の機器の使用を希望される方は、申し込み時に【使用機器欄】に入力願います。
- ⑩ 近年、本学会全国研究大会の自由研究発表本数が増え、自由研究発表の分科会編成が困難になってきています。自由研究発表の日時等の希望にはお応えできない場合があります。

12. 「関連行事」の参加申し込みについて

課題研究との関連行事として、奈良教育大学附属小学校にて公開授業および授業検討会を行います。ただし、教室スペースの関係上、ご参加は事前申し込み先着30名に限定させていただきます。参加を希望される方は、10月1日以降15日までに、参加申込受付番号、氏名、所属をメールでご連絡ください。

「関連行事」参加申し込み先 jass68nara@gmail.com 件名：関連行事

13. 会期中の昼食（弁当）について

奈良教育大学周辺には、コンビニ・飲食店はあまり多くありません。また、11月3日（土）・4日（日）ともに学内の食堂は営業していません。弁当を事前に注文された方は受付付近にて受け取り、教室等で召し上がれます。

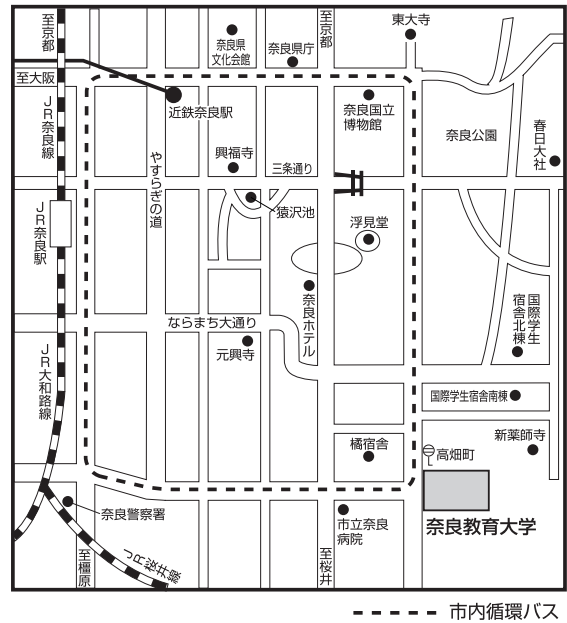
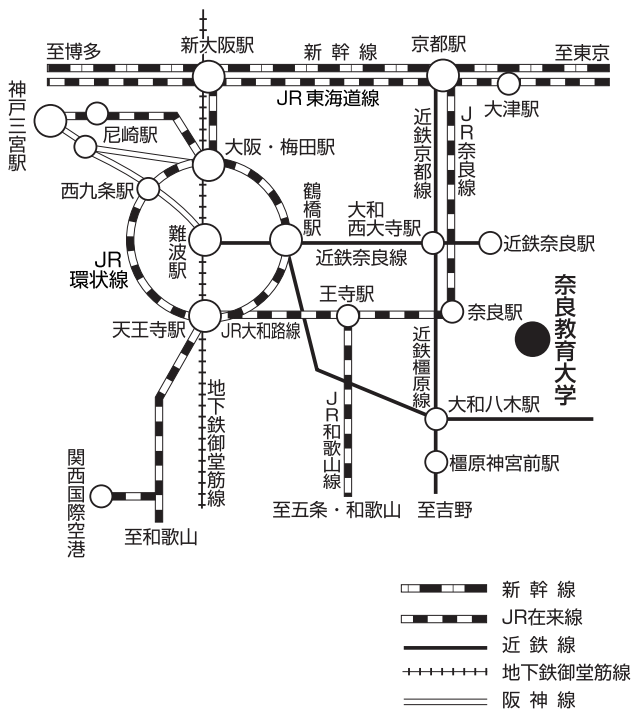
14. 宿泊の斡旋について

宿泊の斡旋はいたしません。大会期間中は、観光シーズンのため奈良市内の宿泊施設は混雑が予想されます。各自でお早めに予約されることをおすすめします。

15. 全国研究大会参加時の保育支援制度について

本学会では、全国研究大会時の保育費支援制度があります。制度規定および利用申請書は本学会HPよりダウンロードし、本学会事務局に直接お申し込みください。

16. 会場（奈良教育大学）へのご案内



京都から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪から

JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪から

JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺から

JR大和路快速で、JR奈良駅まで約30分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ
JR大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

17. お問い合わせ先

日本社会科教育学会第68回全国研究大会（奈良大会）実行委員会 岩本廣美

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学内

メールアドレス jass68nara@gmail.com

※お問い合わせは、できるだけ下記【お問い合わせフォーム】にてお願いします。

【お問い合わせフォーム】 https://www.ics-com.biz/well_form/jass/entries/add/5